



# 架橋構造糖を用いた ウルトラ高選択的グリコシル化反応



Kwansei Gakuin University

関西学院大学 理工学部化学科 教授 山田 英俊

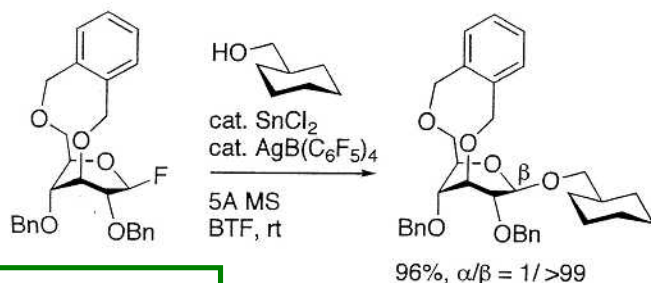
キーワード

立体選択的O - グリコシル化反応 糖鎖合成 糖供与体

研究の概要

糖とアルコールとつなぐO - グリコシル化反応は、糖を含む化合物の化学的供給に不可欠である。一方、グルコシドは 体と 体で機能が異なるため、目的の異性体だけを合成することが重要である。隣接基関与法等が普及しているが、その方法で合成できない化合物も多い。このため、隣接基関与を使わずに完全な選択性で進行する反応の開発が、100年間に渡って望まれている。

確立した 選択的糖鎖合成技術



架橋した  
新規糖供与体

- ・ 体が観測できない程、極めて高い 選択性
- ・ 高反応性を有し、酸性およびアルカリ性等、種々の反応条件が可能
- ・ 糖受容体であるアルコールの立体障害にも関係せず、汎用性が高い

研究の応用分野

糖鎖合成 糖鎖利用医療分野

関連業績 (特許・文献)

- ・ 日本化学会第88年会要旨集2 G2-15, 2 G2-17 (2008年3月26日)
- ・ 特願2008-33960 3,6-O-架橋反転グルコース化合物及び -O-グルコシドの製造方法

研究室ホームページ

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~yamadah/>

関西学院大学 研究推進社会連携機構

<http://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/>

Tel. 079-565-9052 / Fax. 079-565-7910 E-mail: ip.renkei@kwansei.ac.jp